

巻頭インタビュー

第33回東北大学国際祭り
Be happy, be yourself

オクロブコヴァ・イェヴドキーヤさん
ロシア連邦出身
東北大学留学生協会 (TUFSA) 代表

——出身地について、まず教えてくださいか？

ロシア連邦にある共和国のうち、最も大きいサハ共和国の首都ヤクーツク出身です。サハ共和国は、ユーラシア大陸北東部のシベリアにあり、「人間が住む場所としては世界一寒い」と言われています。1年の半が冬、その間はマイナス45度くらいまで気温が下がるのは普通で、マイナス50度以下になることもあります。それで夏は涼しいかというと、40度近くになりますから、夏と冬の寒暖差が非常に大きい国と言えます。

——「世界一寒い」国の生活は、どのようなものなのでしょう？

家や車は、二重窓、三重窓が一般的です。冬に屋外に食べ物を置くとすぐに凍るので、家のバルコニーを「天然の冷凍庫」として使うことができます。また、厳しい冬の寒さを乗り越え、夏を迎えたことを祝うお祭りが1年で最も大事な行事です。夏至の頃に行われるそのお祭りでは、人々が馬乳酒をかけあって祝います。

建築方法も特殊です。国内の土壌は全て永久凍土のため、通常の方法で建物を建てると、夏に気温が上がった時に永久凍土の表層が溶けて建物が傾いてしまいます。そこで、永久凍土に長い杭を打ち込み、地上に突き出た杭の上に基礎を作って建物を建てます。ですから、ビルの下を通り抜けることができます。

——大変そうですが、極寒の地ならではの面白さや喜びもあるそうですね。そんな日本とは気候も文化も全く異なる国で生まれたイェヴドキーヤさんが、日本に興味を持ったきっかけはどんなことだったのでしょうか？

1番のきっかけは、母です。小さい頃に母が読んでくれた様々な絵本の中に日本の昔話がありました。もともと怖い話が好きだったこともあり、「ろくろ首」とかヨーロッパにはいない日本の妖怪に心を惹かれました。また、当時としては非常に珍しいことでしたが、ソ連時代の1985年に父が観光で日本を訪れる機会に恵まれ、ステレオなど日本の電化製品などをおみやげとして持って帰ってきたことも私の日本への関心を高めたように思います。それで、高校卒業後、ヤクーツク市内にある北東連邦大学で日本語と日本文学を専攻しました。その間に、山形大学への約1年の留学も経験しています。

——では、今回が2度目の日本留学でいらっしゃるんですね。

そうです。日本政府の国費外国人留学生の試験に合格し、再び東北に来ました。現在は東北大学大学院で国文学の研究をしています。日



TUFSAのメンバーと撮った写真。左から4番目がイェヴドキーヤさん。

本の伝説や幽霊話をもとにした「怪談」の著者として知られる小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)が主な研究対象で、西洋文学が彼の世界観に及ぼした影響などについて調べています。

生活については、キャンパスがある仙台は気候も街の規模もほどよい感じで住みやすく、街中を自転車で移動できるコンパクトさも気に入っています。

——TUFSAの活動は、いつ始められたのでしょうか？

2015年の東北大学国際祭りにボランティアとして参加してからです。テントを張ったり、銀の鈴がたくさん付いたサハ共和国の民族衣装を着て「ファッションショー」に出演したりしたのですが、それがすごく楽しかったので、TUFSAの活動に参加するようになりました。国際祭りに関しては、これまでにボランティアチームリーダーとステージチームリーダーを務め、今年はついに実行委員会の代表になりました。

——国際祭りの準備は、順調ですか？

大変ですが、皆で頑張っています。今年は初めて7月に開催します。昨年までは5月でしたが、今年はその時期、イスラム教徒が日中、断食を行う「ラマダン」に当たるため、「ラマダン」が終わった後の7月1日に実施することにしました。より多くの人が、また民族や宗教に関わらず、誰もが参加できるように、という強い思いを込めて決定しました。テーマは、「Be happy, be yourself」。祭りの1日は、皆、ありのままの自分を見せて楽しもう、という思いを込めています。

——TUFSA代表としての抱負を教えてください。

3つのことに特に取り組みたいと思っています。まず国際祭りに関しては、今年も多くの地元の方々に来てもらえるようにPRを頑張ります。次に、TUFSAの情報発信の方法や内容を工夫します。これまでTUFSAはFacebookで公式の情報発信をしてきましたが、昨年12月にはInstagramも開始し、そちらではメンバーが楽しんでいる雰囲気伝えることに力を入れています。どのように、どんなことを伝えるかを考えながら、効果的な情報発信をしていきたいです。最後に、日本人の学生にTUFSAに入ってもらえるように努力します。日本人の学生に勉強と部活以外のことに目を向け、様々な人との出会いを楽しんでほしいと願っています。

※7月1日(日)に開催される「第33回東北大学国際祭り」についての情報は、2ページと3ページに掲載されています。

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2018年6月～7月の活動予定をご紹介します。

MIAイベントカレンダー

2018	6	S	M	T	W	T	F	S	7	S	M	T	W	T	F	S
	6						1	2	7	1	2	3	4	5	6	7
		3	4	5	6	7	8	9		8	9	10	11	12	13	14
		10	11	12	13	14	15	16		15	16	17	18	19	20	21
		17	18	19	20	21	22	23		22	23	24	25	26	27	28
		24	25	26	27	28	29	30		29	30	31				

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方

主催

会場

時間

申し込み

参加費

電話

FAX

Eメール

ホームページ

6月 JUNE

3・8・17・24日

瑞巖寺ボランティアガイド

松島善意通訳者の会

瑞巖寺

10:00～15:00

不要(直接現地へ)

入館料700円は自己負担

http://www.geocities.jp/matsushimagw

3・8・17・24日

円通院ボランティアガイド

松島善意通訳者の会

円通院

10:00～15:00

不要(直接現地へ)

入館料300円は自己負担

http://www.geocities.jp/matsushimagw

9日

MIA日本語サポータービギナー研修会

公益財団法人宮城県国際化協会

宮城県国際化協会

13:00～16:00

要(電話・メール) ※定員20人、先着順

無料

022-275-3796

mail@mia-miyagi.jp

9日

ユニセフのつどい～安田菜津紀さん講演会
「世界の子どもたちと向き合って」

宮城県ユニセフ協会

仙台市シルバーセンター 交流ホール
(仙台市青葉区花京院1-3-2)

13:30～15:30

要(電話、FAX、メール)

無料

080-5849-6072

022-218-3663

sn.municef_miyagi@todock.jp

http://www.unicef-miyagi.gr.jp

17日

歩いて巡る地域歴史散策

～第44回仙台三十三観音巡り第一行程～

第1番札所～第11番札所

NPO法人楽遊ネットワーク宮城

集合場所：地下鉄東西線「川内」駅前

8:45集合 9:00出発～15:00頃解散予定

要(電話・FAX・メール)

※定員50名、先着順

一般2,500円 会員2,000円

(小冊子・保険料込)

022-261-9869

022-261-0546

eikaiwa.usaclub@dream.ocn.ne.jp

http://www.eikaiwa-sendai.jp/raku
yuu.html

20日

申請取次行政書士による外国人のための
入管手続無料相談会

宮城県行政書士会

仙台市青葉区役所 4階 市民相談会会場

13:00～16:00

電話受付または予約なしでもOK

無料

022-261-6768

FAX 022-261-0610

21日

牛とともに耕すーエチオピアの農耕

アフリカ・セミナーの会

仙台国際センター 交流コーナー 研修室

10:00～12:00

不要

1,000円

FAX 022-362-7907

7月 JULY

1・13・15・16・22・29日

瑞巖寺ボランティアガイド

松島善意通訳者の会

瑞巖寺

10:00～15:00

不要(直接現地へ)

入館料700円は自己負担

http://www.geocities.jp/matsushimagw

1・13・15・22・29日

円通院ボランティアガイド

松島善意通訳者の会

円通院

10:00～15:00

不要(直接現地へ)

入館料300円は自己負担

http://www.geocities.jp/matsushimagw

1日

マダガスカルウォッチングユニークな生き
物・自然と人々の暮らし(仮題)セルコホームズパラダイス八木山、国立
大学法人宮城教育大学、独立行政法人国際
協力機構(JICA)東北支部

せんだいメディアテーク

1階 オープンスクエア

10:30～15:00

不要

無料

022-229-0122

FAX 022-229-3159

ken010320@city.sendai.jp

1日

第33回東北大学国際祭り

東北大学留学生協会(Tohoku University
Foreign Students Association)

東北大学100周年記念会館

(川内萩ホール)前

11:00～16:00

不要

入場無料 ※ただし食券は、1枚1,500円
(前売り1,200円)

tufsacontact@gmail.com

https://www.tufsa.net/

7日

2018 第16回七夕会OKパジ講演会
「いのち～あたりまえに生きる～」

七夕会

仙台国際センター 交流コーナー 研修室

12:55～

不要

無料

0220-22-4283

7日

宮城県国際理解教育研究会年度始め総会及び
帰国者歓迎会

宮城県国際理解教育研究会

丘のホテル

18:00～20:30

要(メール)

4,000円程度(歓迎会費)

022-256-0215

FAX 022-298-8523

miyagikenkokusairikai@gmail.com

18日

申請取次行政書士による外国人のための
入管手続無料相談会

宮城県行政書士会

仙台市青葉区役所 4階 市民相談会会場

13:00～16:00

電話受付または予約なしでもOK

無料

022-261-6768

FAX 022-261-0610

19日

南アフリカと日本人

アフリカ・セミナーの会

仙台国際センター 交流コーナー 研修室

10:00～12:00

不要

1,000円

FAX 022-362-7907

28日

夏休みユニセフ教室

「親子で参加する外国コイン仕分け活動」

宮城県ユニセフ協会

みやぎ生協文化会館ウィズ

(仙台市泉区八乙女4-2-2)

10:00～14:00

要(電話、FAX、メール)

※7月10日締切、7月13日抽選結果お知らせ

500円/人(昼食代・カレー&ナン)

080-5849-6072

FAX 022-218-3663

sn.municef_miyagi@todock.jp

http://www.unicef-miyagi.gr.jp



「みやぎの国際活動団体DIRECTORY 2018」WEB公開中です!

「みやぎの国際活動団体DIRECTORY」は、宮城県内の国際活動(国際交流・国際協力)に携わる団体及び関係機関をネットワーキングすることにより、それぞれの活動をより有機的なものにしていただくことを目的として、毎年、当協会が作成しているものです。昨年度から、主に仙台市内を活動拠点とする団体については、効果的・効率的な情報共有を図るため、(公財)仙台観光国際協会と協働で団体情報の収集を行っています。

現在、宮城県内の約200の国際活動団体の団体情報を当協会HPで公開しており、主に仙台市内を活動拠点とする団体は、(公財)仙台観光国際協会HPの「国際交流・国際協力団体検索サイト」の情報が表示

されるようになっています。

掲載団体は、①県内市町村国際交流協会、②親善交流を主たる目的とする団体、③特定の国や地域との親善交流を主たる目的とする団体、④国際協力や支援を主たる目的とする団体、⑤在住外国人が主たる会員の活動団体、⑥在住外国人相談支援活動団体、の6つのカテゴリーに分けられています。参考資料として、県内外の関係機関の連絡先や国際的な活動を対象とした助成金の案内も掲載しています。ご関心のある方は、ぜひご覧下さい。

「みやぎの国際活動団体DIRECTORY 2018」

URL: <http://mia-miyagi.jp/ngo.html>

ライブラリー

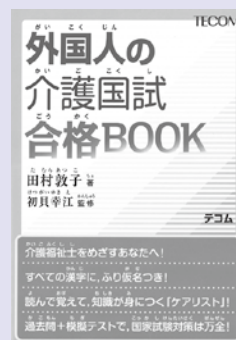
ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

「外国人の介護国試合格BOOK」 著者:田村敦子、監修:初貝幸江、発行:テコム

経済連携協定(EPA)による介護福祉士候補者の受け入れ、技能実習制度への介護職種の追加、在留資格「介護」の創設など、介護分野への外国人の参入を促進する国の動きが近年活発になっています。また、本県では、日本人の配偶者などが介護の現場で活躍する姿が多く見られます。

介護現場の専門家である介護福祉士の資格を取得するためには、国家試験に合格することが必要になりますが、専門用語が占める割合が高いことなどから、外国人にとっては非常にハードルが高いものになっています。この本は、外国人の指導経験が豊富な著者がまとめた試験対策本で、科目ごとの基本問題、覚えるべきポイント、過去問題、模擬問題などが掲載されていて、効率よく学べるよう工夫されています。全ての漢字に振り仮名が振られているのも大きな特徴です。

MIAのライブラリーには、本書の他にも介護の勉強をする外国人向けの参考書がいくつか揃っています。ご関心のある方は、ぜひMIAライブラリーにお立ち寄りください。



JICA東北からのお知らせ

所在地 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1

仙台第一生命タワービル20階

TEL 022-223-4772 FAX 022-227-3090

E-mail thictpp@jica.go.jp

JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku/>

※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力をしています)

JICA東北・二本松・教師海外研修

今年も10名の先生をフィリピン共和国に派遣します

JICAでは、教員の皆様方に、開発途上国の置かれている状況や国際協力への理解を深め、教育に役立てていただくことを目的として『教師海外研修』を実施しています。自分たちの先生が現地で見聞きし、感じたことから作り上げる授業は、子どもたちの心にまっすぐに届きます。詳しくはこちらをご覧ください。

2017年の研修レポート:

<https://www.jica.go.jp/tohoku/enterprise/kaiatsu/kaigaikenshu/2017phi/index.html>

お問い合わせ:

JICA東北市民参加協力課
022-223-4772

thictpp@jica.go.jp



2017年度教師海外研修・
フィリピン共和国タナワン第二小学校にて



TOHOKU
UNIVERSITY

東北大学 国際広報センターからのお知らせ

所在地 〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1

東北大学 広報課内

TEL 022-217-4816

E-mail public_relations@grp.tohoku.ac.jp

Web <https://www.tohoku.ac.jp/en/>

東北大学のニュース・イベント情報や、宮城の良さを英語100%で発信中!

第33回 東北大学国際祭り

2018年7月1日(日)、第33回東北大学国際祭りが川内キャンパスの東北大学百周年記念会館(川内萩ホール)前で開催されます。この祭りは東北大学留学生協会(TUFSA)が主催する、東北地方最大級の国際交流イベントです。今年のテーマは「Be happy, be yourself」。



宮城や東北から多くの人々が集い、幸せを肌で感じ、本当の自分をさらけ出す。そんな祭りを提供します。

当日は25ヵ国以上の屋台、民族衣装のファッションショー、留学生による民族舞踊などのパフォーマンス、さらに世界の文化が学べる交流コーナーなどが楽しめます。

普段の生活では味わうことのできない、様々な国の文化をどうぞお楽しみください。ボランティアも募集中です。

詳細はこちら: <https://tuif2018.peatix.com/>



このコーナーでは、MIA宮城県国際化協会の最近の動きをお知らせいたします。
いずれの件も、お問い合わせは ☎022-275-3796 ✉mail@mia-miyagi.jp まで。お気軽にどうぞ。

多言語での相談に応じています!「みやぎ外国人相談センター」 ☎022-275-9990

MIA内に開設されている「みやぎ外国人相談センター」では、県内に暮らす外国人からのさまざまな相談に多言語で応じています。何か困ったことがあったら、お気軽に電話ください。

対応言語: 中国語・韓国語・英語・タガログ語・ベトナム語・ネパール語・インドネシア語・ポルトガル語・日本語など

対応日時: 月曜日～金曜日 9:00～17:00

◎日時、言語によっては、三者通話電話を利用した外部スタッフによる対応になります。

◎各種相談窓口で外国人に対応する際に、三者通話電話を利用して通訳をすることもできます。



「MIA国際理解教育支援事業」をご活用ください

MIAでは多文化共生を目的とした国際理解教育の推進を図るため、外国人講師を小中高等学校などへ派遣し、世界の多様性や相互理解、相互扶助の大切さを理解する機会を提供しています。平成29年度は、県内16市町村50箇所の学校や団体に、30の国と地域出身の合計180名の講師を派遣いたしました。

実施した学校や団体からは、「外国の方から直接お話を聞く貴重な機会となりました」「パワーポイントや写真だけでなく、民族衣装や通貨など実物を見せていただき、楽しく交流することができました」などの感想を頂きました。また、参加した児童生徒からも「今まで知らなかった国のことや、気づけなかったことを知ることができてとても面白かった」「世界に目を向けることができた」「自分も外国の人に日本のことを紹介できるようになりたい」といった声がありました。

今年度も本事業を実施しておりますので、ご興味のある学校や団体様は是非ご活用ください。また、外国人講師の登録は随時受け付けております。ご自身や周りで興味のある方がいらっしゃいましたら、MIAまでお気軽にお問い合わせください。



母国の楽器を紹介する講師



生徒にあいさつの仕方を教える講師

サポーターの声

鈴木 進さん MIA日本語サポーター



知る人ぞ知る桜の名所、東北大学片平キャンパス。今日はサポートをしている方とお花見をしました。満開のソメイヨシノや枝垂れ桜の下で、飲食、談笑している人達を眺めながらの野外授業です。朝市やデパ地下で、野菜、果物、魚などを手に取り、名前や食べ方、宮城の食の豊かさを説明することもあります。彼らの目的は日本語の習得ですが、言葉や文法の学習は専門家にお任せし、サポートの時には楽しくなるように、時には外に出て、仙台の街や日本人の生活を見ながら日本への理解を深めていただくよう努めています。

AER内のフリースペースで勉強している時に留学生仲間が加わり、お茶をしながら話をすることもあります。お国柄や本音も出て、笑いあり、涙ありで、時間が経つのも忘れず。2年前に仙台に引っ越して来てMIAを知り、登録しました。20年以上、海外で生活し、様々な国で現地の方にお世話になったので、「何か恩返しを」と思ったのがきっかけです。

現在、台湾、韓国のおふたりを担当しています。「故国の家族に不幸があった」など悲報に涙することもあります。覚えた日本語が通じた、「検定試験に合格した」、「就職が決まった」など朗報も多く、そんな時は家族ぐるみで祝杯をあげます。

1人でも多くの外国人に、仙台を、そして日本を好きになっていただければという知恵を絞り、これからも頑張っていきたいと思っています。

「MIA日本語サポーター」とは...

日本語を学習したい外国の方などのために個人指導という形で日本語を教え、外国の方などの快適な生活を支援することにより、県内の草の根交流を推進していくものです。登録者は随時募集中です。MIAまでお問い合わせ下さい。

賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



●賛助会員の資格

本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など

●賛助会員の区分と年会費

個人会員/1口 3,000円
団体会員/1口 10,000円

●賛助会員の特典

◎協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の
定期送付(年6回)

◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免

◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引
(株)JTB東北仙台支店 宮交観光サービス(株)

◎企業会員については世界各国国旗の無償貸し出し、及び当協会の外国人スタッフ等による国際理解出前講座の無償提供

●入会方法

◎本協会あて御連絡ください。

所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部MIA vol.97

編集・発行
公益財団法人 宮城県国際化協会
〒981-0914
仙台市青葉区堤通兩宮町4番17号
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL 022(275)3796
FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL http://mia-miyagi.jp/



再生紙を使用しています。